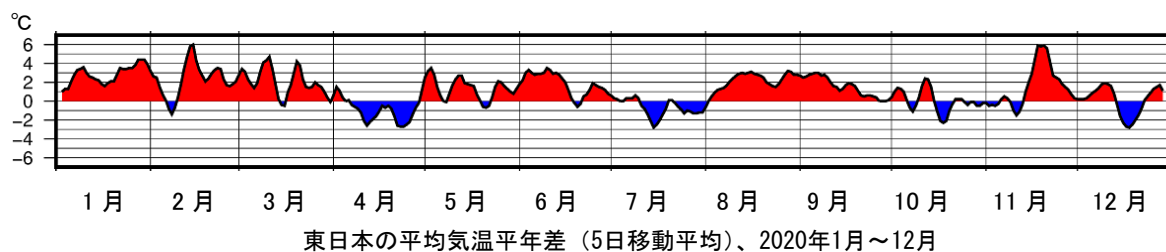


## 2020年（令和2年）の日本の天候

2020年（令和2年）の日本の天候の特徴：

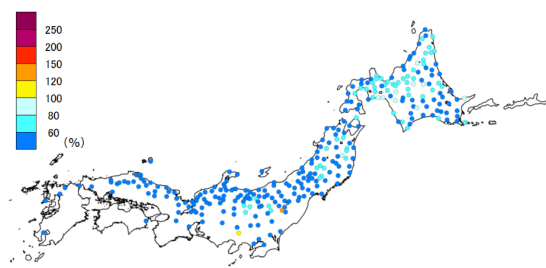
### ○ 気温の高い状態が続き、年平均気温は全国的にかなり高かった

冬（2019年12月～2020年2月）は、冬型の気圧配置が続かず全国的に高温となった。春は、3月と5月に日本の南からの暖かい空気が入りやすく、北・東・西日本で高温となった。夏は、6月は日本の南海上の高気圧が西に張り出して日本付近に暖かい空気が入りやすく、8月は太平洋高気圧に覆われ、全国的に高温となった。秋は、9月前半は高気圧周辺を回る暖かい空気が入り残暑が厳しく、また11月後半は北日本以北を通過する低気圧に向かう暖かい空気が入り、西日本を除き高温となった。このように年間を通して気温の高い状態が続いたため、年平均気温（2020年1月～12月）は全国的にかなり高く、東日本で平年差+1.2℃と、1946年の統計開始以来、最も高くなった。



### ○ 全国的に暖冬で、東・西日本で記録的な高温、日本海側で記録的な少雪となった

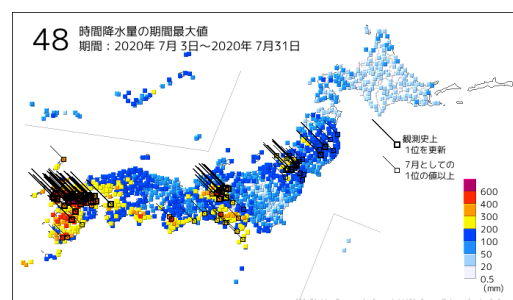
冬型の気圧配置が続かず、全国的に寒気の流入が弱かったため、全国的に気温が高く、特に東・西日本では冬の平均気温の最も高い記録を更新した（統計開始1946/47年冬）。また、全国的に冬の降雪量はかなり少なく、北・東日本日本海側では冬の降雪量の最も少ない記録を更新した（統計開始1961/62年冬）。



2019/20年冬の降雪量平年比

### ○ 「令和2年7月豪雨」など7月は東・西日本で記録的な大雨と日照不足となった

活発な梅雨前線の影響で、東・西日本を中心に各地で長期間にわたって大雨となり（「令和2年7月豪雨」）、1～72時間降水量の多い記録を九州を中心に多数の地点で更新した。月降水量は東日本太平洋側、西日本で7月として最も多い記録を更新した。月間日照時間も東・西日本で7月として最も少ない記録を更新した（統計開始はともに1946年）。梅雨明けは沖縄地方を除く各地方で遅かった。



48時間降水量の期間最大値  
（2020年7月3日～31日）

# 1 概況

2020年は、全国的に気温の高い状態が続き、低温は一時的だった。冬は東日本以西、春は北日本、夏は東日本と沖縄・奄美、秋は北日本と沖縄・奄美でかなり高かった。特に東・西日本では冬の平均気温が1946年の統計開始以来、最も高かった。このため、年平均気温は全国的にかなり高く、東日本では平年差+1.2℃と、1946年の統計開始以来、最も高くなった。全国的に冬の降雪量はかなり少なく、北・東日本日本海側では最も少ない記録を更新した（統計開始1961/62年冬）。7月は活発な梅雨前線の影響で、東・西日本を中心に各地で長期間にわたって大雨となり（「令和2年7月豪雨」）、東・西日本で記録的な大雨と日照不足となった。梅雨明けは沖縄地方を除き全国的に遅く、東北北部では梅雨明けが特定できなかった。12月は中旬に強い寒気が入り、日本海側中心に大雪となり、群馬県北部など一部で記録的な大雪となった。

季節別の特徴は以下のとおり。

## 【冬】

冬（2019年12月～2020年2月）の日本の天候は、冬型の気圧配置が続かず、全国的に寒気の流入が弱かったため高温となる時期が多く、東日本以西では冬の平均気温がかなり高かった。特に東・西日本では最も高い記録を更新した（統計開始1946/47年冬）。また、全国的に冬の降雪量はかなり少なく、北・東日本日本海側では最も少ない記録を更新した（統計開始1961/62年冬）。

## 【春】

春（3月～5月）の日本の天候は、3月から4月にかけて、西日本を中心に移動性高気圧に覆われる日が多かったことから、春の日照時間は、東日本太平洋側と西日本でかなり多かった。一方、北日本では、発達しながら通過した低気圧や前線、湿った空気の影響を受けやすかったため、沖縄・奄美では3月と5月に前線や暖かく湿った空気の影響を受けやすく、春の降水量は多かった。3月と5月は、南からの暖かい空気が流れ込みやすかったため、春の平均気温は北日本でかなり高かった。

## 【夏】

夏（6月～8月）の日本の天候は、7月は活発な梅雨前線の影響で、東・西日本を中心に各地で長期間にわたって大雨となった（「令和2年7月豪雨」）。梅雨明けは沖縄地方を除き全国的に遅く、東北北部では梅雨明けが特定できなかった。7月の月降水量は東日本太平洋側、西日本日本海側、西日本太平洋側で7月として最も多い記録を更新した。7月の月間日照時間も東・西日本（それぞれ日本海側、太平洋側）で7月としてもっとも少ない記録を更新した（統計開始はともに1946年）。このため、東・西日本の夏の降水量はかなり多かった。また、沖縄・奄美では、期間を通して前線や湿った空気の影響を受けやすかったため、降水量はかなり多かった。暖かい空気に覆われる時期が多かったため、全国的に夏の平均気温は高く東日本と沖縄・奄美ではかなり高かった。特に6月と8月の平均気温は東・西日本でその月としてもっとも高い記録を更新した（統計開始1946年、西日本はともにタイ記録）。

## 【秋】

秋（9月～11月）の日本の天候は、西日本太平洋側では、9月上旬に大型で非常に強い勢力で接近した台風第10号をはじめ、秋の前半を中心に台風や低気圧と前線などの影響を受けたため、秋の降水量は多かった。一方、北日本太平洋側と東日本日本海側、沖縄・奄美では、低気圧の影響を受けにくかったため、秋の降水量は少なかった。北日本では9月前半と11月後半を中心に南から暖かい空気が流れ込みやすかったため、沖縄・奄美では11月を中心に暖かい空気に覆われたため、秋の平均気温はかなり高かった。

## 2 気温、降水量、日照時間の気候統計値

### (1) 平均気温

年平均気温（2020年1月～12月）は、全国的にかなり高かった。山形（山形県）、富山（富山県）、三島（静岡県）等の12地点で年平均気温の高い方からの1位の値を更新し、帯広（北海道）、長野（長野県）、奈良（奈良県）等の24地点で1位タイの値を記録した。

### (2) 降水量

年降水量は、西日本日本海側でかなり多く、北日本日本海側、東・西日本太平洋側、沖縄・奄美で多かった。佐賀（佐賀県）で年降水量の多い方からの1位の値を更新した。北日本太平洋側、東日本日本海側で平年並だった。

### (3) 日照時間

年間日照時間は、東日本太平洋側、西日本で多かった。一方、北日本太平洋側で少なかった。北・東日本日本海側、沖縄・奄美で平年並だった。

地域平均平年差（比）と階級（2020年）

	気温 平年差 ℃(階級)	降水量 平年比 %(階級)	日照時間 平年比 %(階級)		気温 平年差 ℃(階級)	降水量 平年比 %(階級)	日照時間 平年比 %(階級)
北日本	1.1 (+)*	100 (○) 日 105 (+) 太 96 (○)	99 (○) 日 100 (○) 太 97 (-)	北海道	1.0 (+)*	93 (-) 日 98 (○) オ 101 (○) 太 83 (-)	100 (○) 日 101 (○) オ 96 (-) 太 101 (○)
東日本	1.2 (+)*	111 (+) 日 106 (○) 太 112 (+)	103 (+) 日 102 (○) 太 103 (+)	東北	1.2 (+)*	110 (+) 日 115 (+) 太 106 (+)	97 (-) 日 99 (○) 太 95 (-)
西日本	0.8 (+)*	121 (+)* 日 125 (+)* 太 117 (+)	106 (+)* 日 106 (+) 太 105 (+)	関東甲信	1.2 (+)*	109 (+)	102 (○)
沖縄・奄美	0.6 (+)*	114 (+)	99 (○)	北陸	1.1 (+)*	106 (○)	102 (○)
				東海	1.2 (+)*	116 (+)	104 (+)
				近畿	1.0 (+)*	117 (+) 日 111 (+) 太 119 (+)	104 (+) 日 104 (+) 太 104 (+)
				中国	0.9 (+)*	113 (+) 陰 111 (+) 陽 116 (+)	106 (+) 陰 105 (+) 陽 107 (+)
				四国	0.8 (+)*	115 (+)	107 (+)*
				九州北部	0.7 (+)	133 (+)*	107 (+)*
				九州南部 ・奄美	0.6 (+)* 本 0.6 (+)* 奄 0.5 (+)*	117 (+) 本 120 (+)* 奄 106 (+)	102 (+) 本 104 (+) 奄 94 (-)*
				沖縄	0.7 (+)*	118 (+)	100 (○)

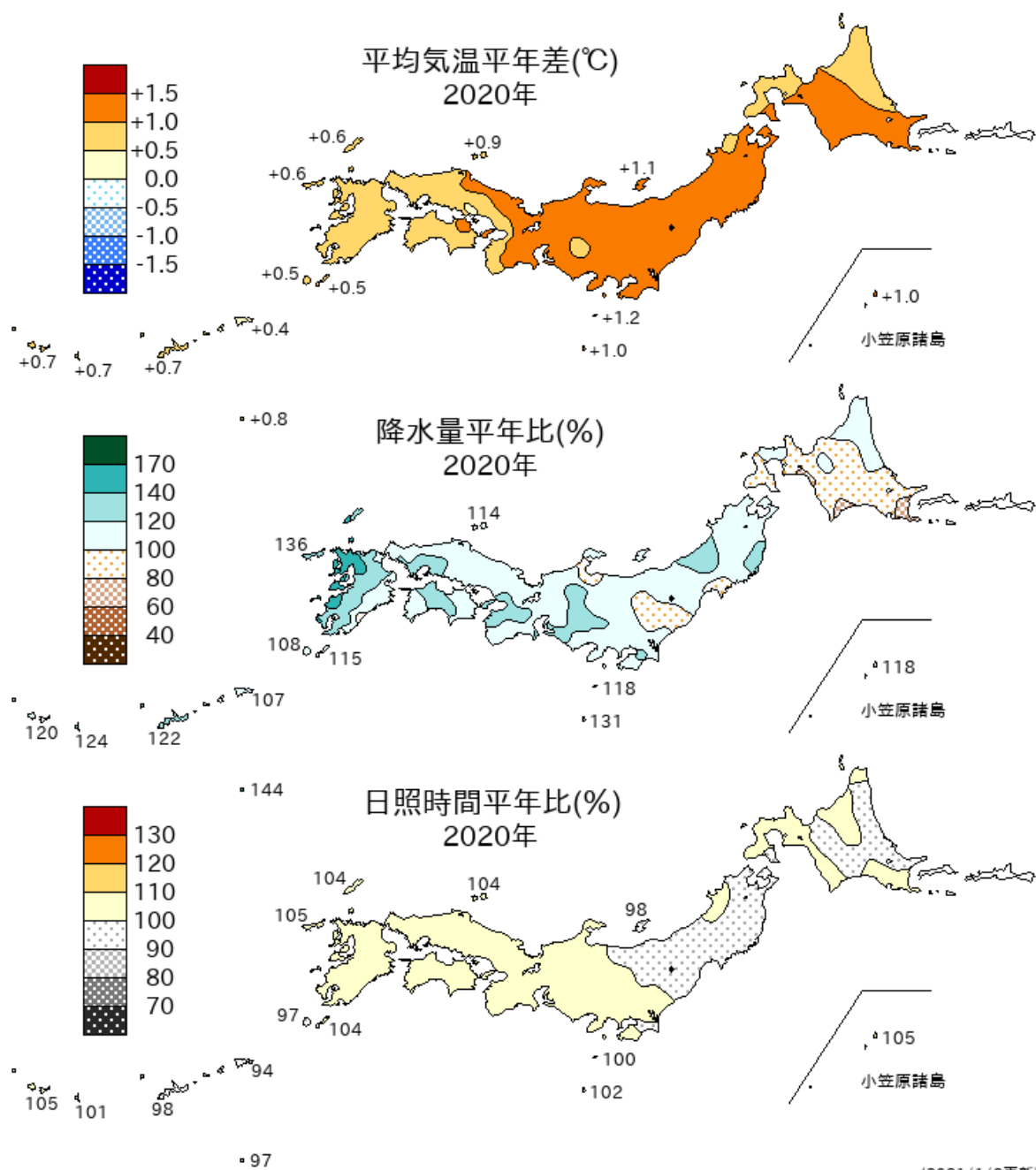
階級表示 -:低い(少ない) 0:平年並 +:高い(多い)  
\*はかなり低い(少ない)、かなり高い(多い)を表す

地域表示 日:日本海側 陰:山陰 本:本土(九州南部)  
オ:オホーツク海側 陽:山陽 奄:奄美  
太:太平洋側

(注)・基礎となるデータは全国の气象台等での観測値で、観測所数は153地点である。

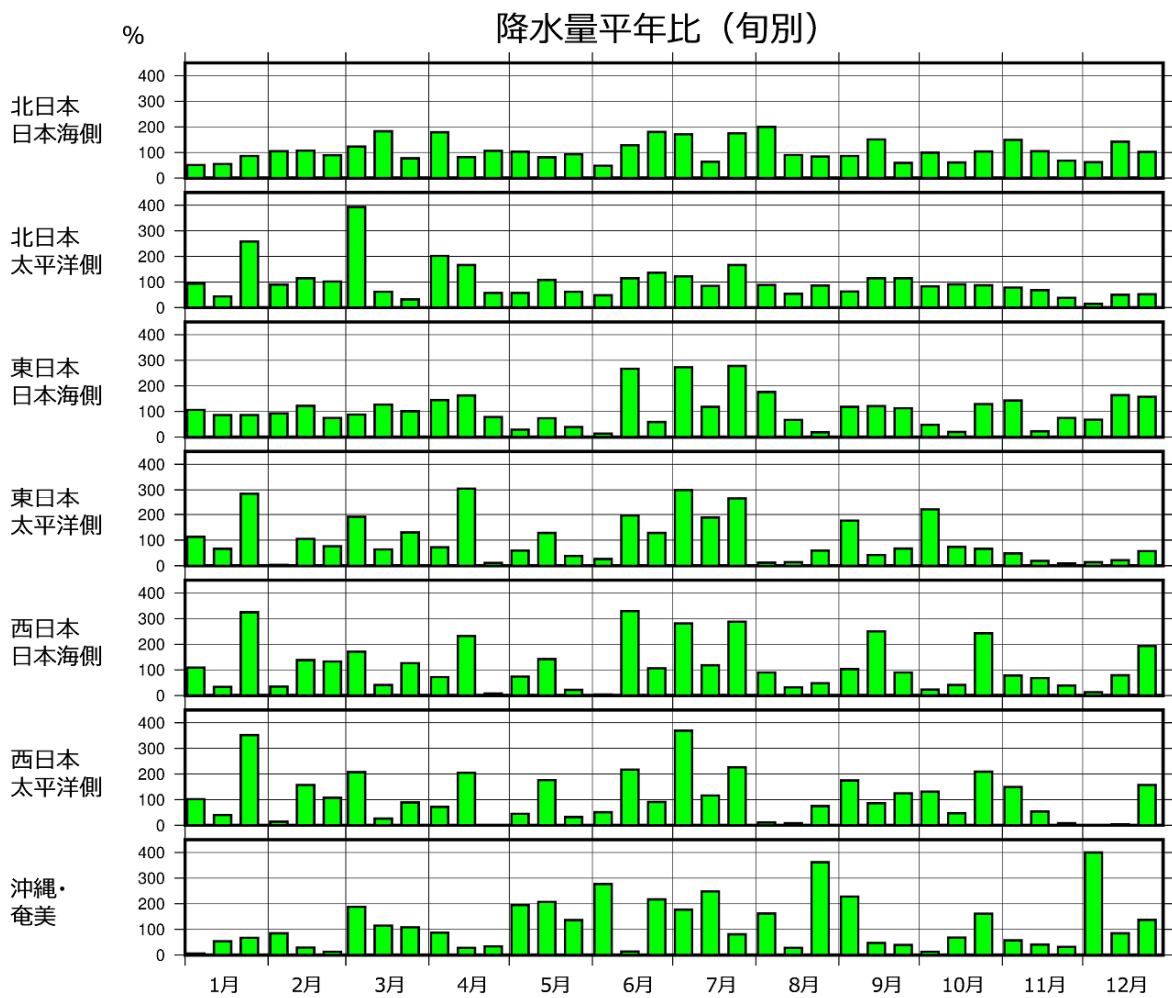
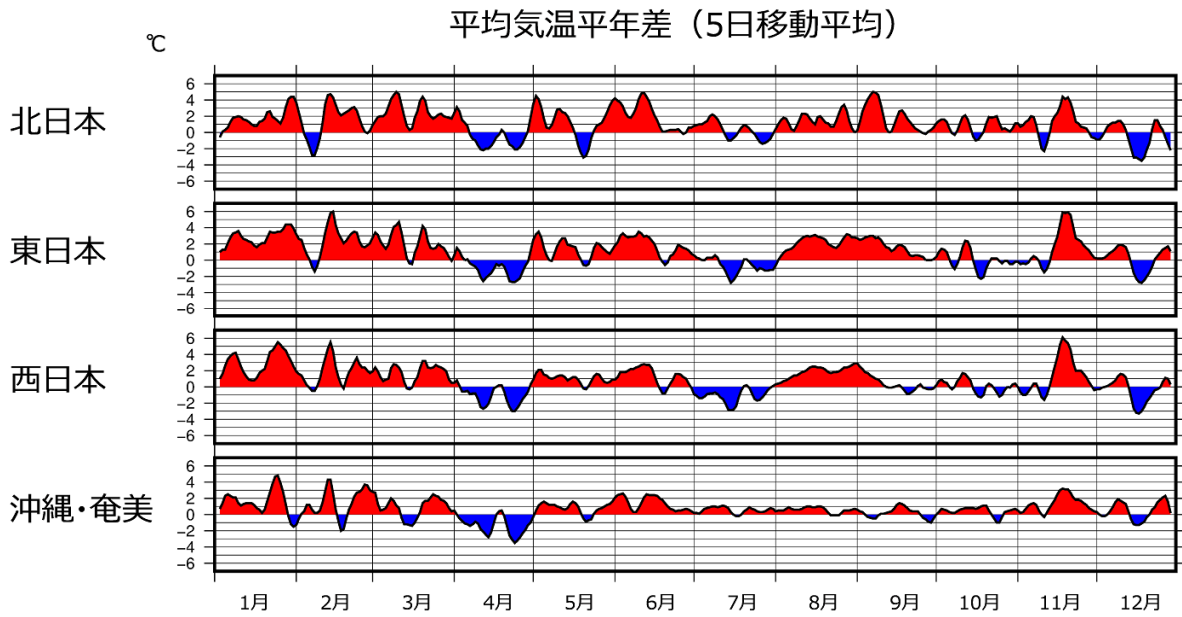
- ・「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の階級は、1981～2010年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が10個ずつになる)ように決めている。また、値が1981～2010年の観測値の下位または上位10%に相当する場合には、「かなり低い(少ない)」「かなり高い(多い)」と表現する。
- ・本文中の北・東・西日本の降水量・日照時間の特徴は、日本海側・太平洋側の階級に基づいて記述している。

平年差（比）図（2020年）

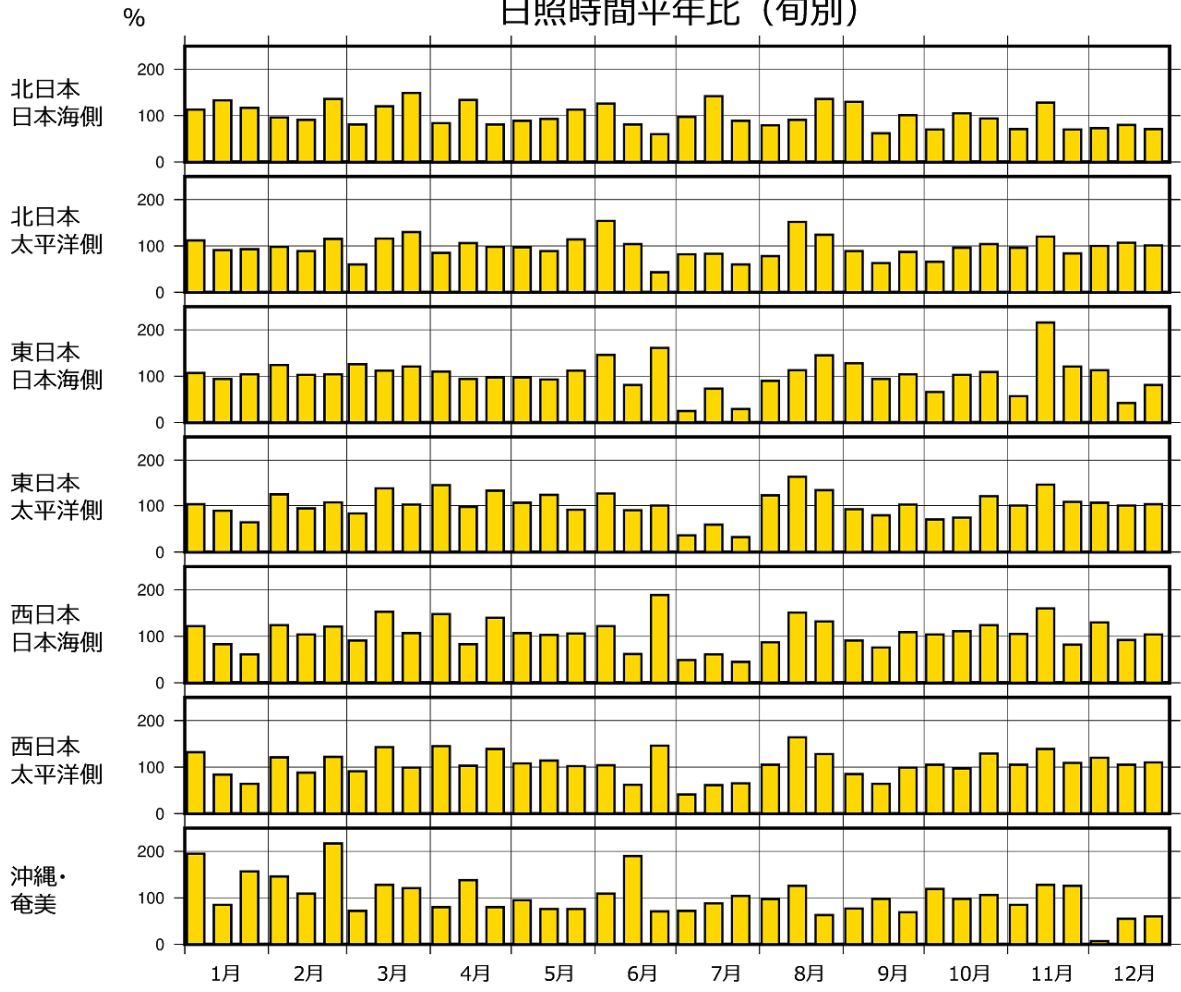


(2021/1/2更新)  
All rights reserved. Copyright(c) Japan Meteorological Agency

地域平均平年差（比）の経過（2020年）



### 日照時間平年比（旬別）



### 観測史上1位の値（月、3か月、年別値）を更新した地点数と地域

- ・全国 153 地点（降雪の深さ、最深積雪は 105 地点）の気象台等の統計値の中で、観測史上 1 位となった地点数を記載した。
- ・値は 1 位を更新した地点数。タイ記録は含まない。タイ記録がある場合には「値々」として横に併記した。
- ・地域は観測史上 1 位（タイ記録を含む）となった地域を記載した。

	平均気温		降水量		日照時間		降雪の深さ	最深積雪
	高い方から	低い方から	多い方から	少ない方から	多い方から	少ない方から	多い方から	大きい方から
1月	92、13 ㊦ 東、西		2	3、1 ㊦ 北日				
2月	19、4 ㊦			2	1			
冬	109、2 ㊦ 西		3 西日	4 北日、東日	3			
3月	26、12 ㊦ 北							
4月			5	2	26			
5月	2		1	6				
春				1				
6月	36、14 ㊦ 東、西			1				
7月	1、1 ㊦		17 東太、西		1	45、1 ㊦ 東、西		
8月	42、8 ㊦ 東、西		1	4、1 ㊦ 東太、西太	12 西太			
夏	3、1 ㊦		2					
9月	1							
10月	1							
11月	1 ㊦			1	4			
秋	2							
12月			3	5、4 ㊦ 北太	6	4 沖奄		1
年 2020年	12、24 ㊦ 東		1					

平均気温の地域表示

北：北日本  
東：東日本  
西：西日本  
沖奄：沖縄・奄美

降水量、日照時間、降雪の深さ、最深積雪の地域表示

北日：北日本日本海側 北太：北日本太平洋側 北：北日、北太ともに1位  
東日：東日本日本海側 東太：東日本太平洋側 東：東日、東太ともに1位  
西日：西日本日本海側 西太：西日本太平洋側 西：西日、西太ともに1位  
沖奄：沖縄・奄美

### 各地方の梅雨入り・明けと梅雨の時期の降水量

地方名	梅雨入り(注1)	平 年	梅雨明け(注1)	平 年	梅雨の時期の降水量 平年比 (注2)
沖 縄	5月16日ごろ(+)	5月 9日ごろ	6月12日ごろ(-)*	6月23日ごろ	182%(+)*
奄 美	5月17日ごろ(+)	5月11日ごろ	7月20日ごろ(+)*	6月29日ごろ	126%(+)
九州南部	5月30日ごろ(0)	5月31日ごろ	7月28日ごろ(+)*	7月14日ごろ	176%(+)*
九州北部	6月11日ごろ(+)	6月 5日ごろ	7月30日ごろ(+)*	7月19日ごろ	195%(+)*
四 国	6月10日ごろ(+)	6月 5日ごろ	7月29日ごろ(+)*	7月18日ごろ	157%(+)*
中 国	6月10日ごろ(+)	6月 7日ごろ	7月31日ごろ(+)*	7月21日ごろ	167%(+)*
近 畿	6月10日ごろ(+)	6月 7日ごろ	8月1日ごろ(+)*	7月21日ごろ	180%(+)*
東 海	6月10日ごろ(+)	6月 8日ごろ	8月1日ごろ(+)*	7月21日ごろ	194%(+)*
関東甲信	6月11日ごろ(+)	6月 8日ごろ	8月1日ごろ(+)	7月21日ごろ	178%(+)*
北 陸	6月11日ごろ(0)	6月12日ごろ	8月1日ごろ(+)	7月24日ごろ	162%(+)*
東北南部	6月11日ごろ(0)	6月12日ごろ	8月2日ごろ(+)	7月25日ごろ	160%(+)*
東北北部	6月25日ごろ(+)*	6月14日ごろ	特定できない	7月28日ごろ	142%(+)*

(注1) 梅雨の入り・明けには平均的に5日間程度の遷移期間があり、その遷移期間のおおむね中日をもって「〇〇日ごろ」と表現した。記号の意味は、(+)\*: かなり遅い、(+): 遅い、(0): 平年並、(-): 早い、(-)\*: かなり早い、の階級区分を表す。

(注2) 全国153の気象台・測候所等での観測値を用い、梅雨の時期(6~7月。沖縄と奄美は5~6月。)の地域平均降水量を平年比で示した。記号の意味は、(+)\*: かなり多い、(+): 多い、(0): 平年並、(-): 少ない、(-)\*: かなり少ない、の階級区分を表す。

階級区分は、1981~2010年における30年間の観測値をもとに、以下のように振り分けている。

	33%		33%
	10%		10%
梅雨入り・明け	遅い かなり遅い	平年並	早い かなり早い
降水量	少ない かなり少ない	平年並	多い かなり多い



### 3 季節別の天候経過

冬（2019年12月～2020年2月）：

- 東・西日本で記録的な暖冬となった
- 冬の降雪量は全国的にかなり少なく、北・東日本日本海側で記録的な少雪となった
- 冬の日照時間は東日本太平洋側でかなり少なく、降水量は西日本日本海側でかなり多かった

12月上旬は北日本と沖縄・奄美を中心に、また、2月上旬には北日本で一時的に強い寒気の影響を受けたほかは、冬を通して冬型の気圧配置となる日が少なかったことや、寒気の流入が弱かったことから、全国的に高温となる時期が多かった。冬の平均気温は、東・西日本と沖縄・奄美でかなり高く、北日本で高かった。特に、東・西日本では度々顕著な高温となり、冬の平均気温の平年差がそれぞれ+2.2℃、+2.0℃と、冬として最も高い記録を更新した（統計開始は1946/1947年冬）。地点では、全国の气象台等153地点のうち111地点で最も高い記録を更新した（タイを含む）。

冬の降雪量は全国的にかなり少なく、北・東日本日本海側では平年比がそれぞれ44%、7%と最も少ない記録を更新した（統計開始は1961/1962年冬）。また、冬型の気圧配置となる日が少なく、低気圧の影響も受けにくかったため、冬の降水量も北日本日本海側でかなり少なく、東日本日本海側で少なかったほか、冬の日照時間は北・東日本日本海側が多かった。一方、本州付近を低気圧や前線が通過することが多かったため、冬の降水量は西日本日本海側でかなり多く、西日本太平洋側が多かったほか、冬の日照時間も東日本太平洋側でかなり少なく、西日本で少なかった。沖縄・奄美では、低気圧や前線、寒気の影響を受けにくかったため、冬の日照時間はかなり多く、降水量は少なかった。

平均気温：東・西日本と沖縄・奄美でかなり高く、北日本で高かった。

降水量：北日本日本海側でかなり少なく、東日本日本海側と沖縄・奄美で少なかった。一方、西日本日本海側ではかなり多く、西日本太平洋側では多かった。北・東日本太平洋側では平年並だった。

日照時間：沖縄・奄美でかなり多く、北・東日本日本海側が多かった。一方、東日本太平洋側でかなり少なく、西日本で少なかった。北日本太平洋側では平年並だった。

春（3月～5月）：

- 春の気温は、北日本でかなり高く、東・西日本で高かった
- 春の日照時間は、東日本太平洋側と西日本でかなり多かった
- 春の降水量は、北日本と沖縄・奄美で多かった

本州付近を低気圧や前線、高気圧が交互に通過したため、全国的に天気は数日の周期で変わったが、3月から4月にかけて、西日本を中心に移動性高気圧に覆われて晴れた日が多かったため、春の日照時間は東日本太平洋側と西日本でかなり多く、東日本日本海側が多かった。一方、北・東・西日本では、低気圧や前線、湿った空気の影響で大雨や大荒れの天気となった日があった。特に北日本では、3月と4月に、発達しながら通過した低気圧や前線、湿った空気の影響を時々受けたため、春の降水量は多かった。沖縄・奄美では、3月と5月に前線や湿った空気の影響を受けやすかったため、春の降水量は多かったが、湿った空気の影響を受けにくかった4月の月降水量はかなり少なく、変動が大きかった。

気温は、3月に冬型の気圧配置が現れにくく、また、南からの暖かい空気が流れ込みやすか

ったため、北日本で記録的な高温となるなど全国的に高かった。5月も、南からの暖かい空気に覆われやすく、東・西日本を中心に全国的に高かった。このため、春の平均気温は、北日本でかなり高く、東・西日本で高かった。その一方で、4月は、大陸からの寒気の影響を受けやすかったため、西日本と沖縄・奄美を中心に全国的に低く、月ごとの変動が大きかった。

平均気温：北日本でかなり高く、東・西日本で高かった。沖縄・奄美では平年並だった。

降水量：北日本と沖縄・奄美が多かった。東・西日本では平年並だった。

日照時間：東日本太平洋側と西日本でかなり多く、東日本日本海側が多かった。北日本と沖縄・奄美では平年並だった。

## 夏（6月～8月）：

- 「令和2年7月豪雨」など、全国各地で大雨が発生した
- 全国的に気温は高く、東日本と沖縄・奄美ではかなり高かった
- 東日本日本海側と沖縄・奄美では日照時間が少なかった

北日本から西日本にかけては、6月上旬は高気圧に覆われて晴れの日が多かったが、6月中旬からは梅雨前線が本州付近に停滞しやすく、曇りや雨の日が多かった。特に7月になると梅雨前線の活動がたびたび活発になり本州付近に停滞した日が多かったため、東・西日本を中心に各地で長期間にわたって大雨となり、河川の氾濫や土砂災害などの甚大な被害が発生した（「令和2年7月豪雨」）。7月前半中心に、1～72時間降水量の多い記録を九州をはじめとして多数の地点で更新した。7月の月降水量は、東日本太平洋側、西日本日本海側、西日本太平洋側で7月として最も多い記録を更新した。7月の月間日照時間も、東・西日本（それぞれ日本海側、太平洋側）で7月としてもっとも少ない記録を更新した（統計開始はともに1946年）。梅雨明けは沖縄地方を除き全国的に遅く、東北北部では梅雨明けが特定できなかった。8月は、東・西日本では一転して太平洋高気圧に覆われて晴れの日が多くなったが、北日本では低気圧や前線の影響をたびたび受けたため、天気は数日の周期で変わった。沖縄・奄美では、期間を通して前線や湿った空気の影響を受けやすかったため、夏の降水量はかなり多くなり、夏の日照時間は少なくなった。

夏の平均気温は、全国的に高く、東日本と沖縄・奄美ではかなり高かった。特に、6月は日本の南海上の高気圧が西に張り出して日本付近に暖かい空気が入りやすく、8月は太平洋高気圧に覆われ、東・西日本でそれぞれの月として最も高い記録を更新した（統計開始は1946年、西日本はともにタイ記録）。8月17日には浜松（静岡県）で歴代全国1位タイの41.1℃を観測するなど、全国の気象官署のうち11地点で通年の日最高気温の高い方から1位の値を記録した。

平均気温：東日本と沖縄・奄美はかなり高く、北・西日本では高かった。

降水量：東・西日本と沖縄・奄美はかなり多く、北日本日本海側では多かった。北日本太平洋側は平年並だった。

日照時間：東日本日本海側と沖縄・奄美で少なかった。東日本太平洋側と北・西日本では平年並だった。

## 秋（9月～11月）：

- 秋の気温は北日本と沖縄・奄美でかなり高く東日本で高かった
- 秋の降水量は西日本太平洋側で多く、北日本太平洋側、東日本日本海側、沖縄・奄美で少なかった

## ○ 秋の日照時間は、北日本で少なく、東・西日本日本海側が多かった

秋の前半は、低気圧や前線及び台風の影響で、全国的に曇りや雨の日が多かった。西日本太平洋側では9月上旬に大型で非常に強い勢力で接近した台風第10号をはじめ、低気圧や前線などの影響を受けたため、降水量は多かった。日照時間は、低気圧や前線または寒気の影響を受けることが多かった北日本で少なかった。

秋の後半は、低気圧と高気圧の影響を交互に受けて、全国的に天気は数日の周期で変わったが、東・西日本を中心に移動性高気圧に覆われて晴れる日が多く、また、北日本太平洋側を含めて低気圧の影響を比較的受けにくかった。このため東・西日本日本海側の日照時間は多く、北日本太平洋側と東日本日本海側の降水量は少なかった。また、沖縄・奄美では11月を中心に低気圧の影響を受けにくかったため、降水量は少なかった。一方、北日本日本海側では低気圧や寒気の影響を受けたため、曇りや雨または雪の日が多かった。

気温は、9月前半は北・東日本を中心に高気圧周辺を回る暖かい空気が入り8月に引き続き高く、残暑が厳しかった。また、11月後半は全国的に北日本以北を通過する低気圧に向かう暖かい空気が流れ込み顕著な高温となった。沖縄・奄美では11月を中心に暖かい空気に覆われやすかった。このため、秋の平均気温は北日本と沖縄・奄美でかなり高く、東日本で高かった。

平均気温：北日本と沖縄・奄美ではかなり高く、東日本で高かった。西日本で平年並だった。

降水量：西日本太平洋側が多かった。一方、北日本太平洋側、東日本日本海側、沖縄・奄美で少なく、北日本日本海側、東日本太平洋側、西日本日本海側で平年並だった。

日照時間：北日本で少なかった。一方、東・西日本日本海側で多く、東・西日本太平洋側と沖縄・奄美で平年並だった。

## 4 全国気候表 2020年

全国気候表 2020年

地点名	平均気温(平年差) 階級			降水量(平年比) 階級			降水日数 ≥1mm	日照時間(平年比) 階級		
	(°C)	(°C)		(mm)	(%)			(h)	(%)	
札幌	10.0	(+1.1)	++	905.0	(82)	-	151	1764.3	(101)	○
稚内	7.6	(+0.8)	++	1221.0	(115)	+	153	1519.6	(102)	○
北見枝幸	6.9	(+0.9)	++	1202.0	(105)	○	155	1495.4	(96)	-
旭川	7.9	(+1.0)	++	974.0	(93)	○	165	1610.9	(101)	○
留萌	8.7	(+1.0)	++	1121.5	(100)	○	166	1581.8	(103)	○
羽幌	8.6	(+0.9)	++	1302.0	(102)	○	173	1593.2	(101)	○
岩見沢	8.7	(+1.1)	++	1192.5	(103)	○	165	1645.2	(96)	○
倶知安	7.9	(+0.9)	++	1479.0	(100)	○	179	1465.6	(100)	○
小樽	9.5	(+0.9)	++	1131.5	(92)	-	169	1628.0	(100)	○
寿都	9.5	(+0.9)	++	1283.5	(109)	+	167	1419.8	(100)	○
網走	7.5	(+1.0)	++	644.0	(82)	-	112	1793.2	(96)	-
紋別	7.3	(+0.9)	+	906.5	(112)	+	132	1649.8	(96)	-
雄武	6.7	(+1.0)	++	894.5	(103)	○	130	1587.9	(95)	-
釧路	7.5	(+1.3)	++	856.0	(82)	-	82	2015.7	(102)	+
根室	7.3	(+1.0)	++	777.0	(76)	-	87	1923.9	(104)	+
帯広	8.1	(+1.3)	++	716.0	(81)	-*	98	2011.7	(99)	○
広尾	8.0	(+1.2)	++	1247.5	(73)	-*	123	1812.5	(100)	○
室蘭	9.6	(+1.0)	++	995.0	(84)	-	141	1740.7	(101)	○
苫小牧	8.7	(+1.1)	++	932.5	(78)	-*	115	1722.1	(101)	○
浦河	9.0	(+1.1)	++	1022.0	(95)	○	122	1896.1	(103)	+
函館	10.2	(+1.1)	++	1119.5	(97)	○	132	1708.3	(98)	○
江差	10.9	(+0.8)	++	1013.5	(85)	-	134	1542.8	(106)	+
青森	11.6	(+1.2)	++	1419.0	(109)	+	160	1598.9	(100)	○
深浦	11.6	(+0.9)	++	1597.5	(109)	+	176	1443.7	(100)	○
むつ	10.5	(+1.0)	++	1385.5	(103)	+	155	1456.1	(91)	-
八戸	11.3	(+1.1)	++	1231.0	(120)	+	125	1741.2	(94)	-
秋田	12.8	(+1.1)	++	2022.5	(120)	++	192	1535.7	(101)	○
盛岡	11.4	(+1.2)	++	1462.0	(115)	+	131	1563.8	(93)	-
大船渡	12.5	(+1.2)	++	1554.0	(101)	○	105	1619.6	(93)	-
宮古	11.6	(+1.0)	++	1815.0	(137)	++	107	1728.1	(92)	-
仙台	13.7	(+1.3)	++	1247.0	(99)	○	99	1797.2	(100)	○
石巻	12.6	(+1.0)	++	1002.0	(94)	-	89	1841.5	(95)	-
山形	13.0	(+1.3)	++	1284.5	(110)	+	127	1547.1	(96)	-
新庄	12.1	(+1.4)	++	2303.5	(124)	++	197	1303.9	(99)	○
酒田	13.8	(+1.1)	++	2391.0	(126)	++	194	1546.0	(100)	○
福島	14.1	(+1.1)	++	1224.5	(105)	○	108	1683.5	(97)	-
若松	13.0	(+1.3)	++	1334.5	(110)	+	140	1561.2	(97)	○
白河	12.7	(+1.2)	++	1255.0	(89)	-	112	1733.5	(97)	○
小名浜	14.6	(+1.2)	++	1384.5	(98)	○	108	2031.6	(99)	○
水戸	15.0	(+1.4)	++	1422.0	(105)	○	122	2058.8	(107)	+
館野(つくば)	15.1	(+1.3)	++	1336.0	(104)	○	108	1962.1	(103)	○
宇都宮	15.0	(+1.2)	++	1353.5	(91)	-	105	1967.2	(103)	○
日光	8.1	(+1.2)	++	1861.0	(86)	-	125	1733.8	(98)	○

地点名	平均気温(平年差) 階級		降水量(平年比) 階級		降水日数 ≥1mm	日照時間(平年比) 階級	
	(°C)	(°C)	(mm)	(%)		(h)	(%)
前橋	15.8	(+1.2) +*	1315.5	(105) ○	96	2154.8	(102) ○
熊谷	16.2	(+1.2) +*	1364.0	(106) ○	101	2110.6	(103) ○
秩父	14.2	(+1.1) +*	1542.0	(116) +	95	1962.5	(103) ○
東京	16.5	(+1.1) +*	1590.0	(104) ○	108	1889.5	(101) ○
大島	17.4	(+1.3) +*	3196.0	(113) +	128	1811.9	(100) ○
三宅島	18.9	(+1.2) +*	3477.0	(118) +	156	1703.7	(100) ○
八丈島	18.8	(+1.0) +*	4189.0	(131) +*	190	1432.8	(102) ○
父島	24.2	(+1.0) +*	1521.0	(118) +	141	2137.7	(105) +
千葉	17.0	(+1.3) +*	1791.5	(129) +*	115	1880.4	(99) ○
銚子	16.6	(+1.2) +*	1795.5	(108) +	133	1901.8	(97) -
館山	17.1	(+1.2) +*	1970.5	(110) +	123	1977.2	(102) ○
勝浦	16.7	(+1.0) +*	2002.0	(102) ○	126	1954.2	(102) ○
横浜	17.0	(+1.2) +*	1687.5	(100) ○	108	2005.1	(102) ○
長野	13.1	(+1.2) +*	1030.0	(110) +	106	1949.1	(100) ○
本松	13.1	(+1.3) +*	1066.5	(103) ○	86	2115.8	(101) ○
諏訪	12.2	(+1.1) +*	1516.0	(118) +	108	2200.2	(104) +
軽井沢	9.2	(+1.0) +*	1391.0	(112) +	103	2003.5	(102) ○
飯田	13.7	(+0.9) +*	2149.0	(133) +*	115	2166.5	(107) +
甲府	15.9	(+1.2) +*	1431.0	(126) +	89	2250.3	(103) ○
河口湖	11.7	(+1.1) +*	1651.0	(105) +	106	1989.1	(102) ○
静岡	17.8	(+1.3) +*	2613.5	(112) +	108	2245.1	(107) +
浜松	17.5	(+1.1) +*	2244.5	(124) +	107	2317.9	(106) +
御前崎	17.6	(+1.2) +*	2093.5	(101) ○	117	2307.5	(103) +
三島	17.3	(+1.4) +*	2276.0	(121) +	108	2040.4	(104) +
石廊崎	17.7	(+1.1) +*	2085.0	(117) +	122	2188.3	(103) +
網代	17.1	(+1.1) +*	2074.5	(105) ○	118	1829.8	(102) ○
名古屋	17.0	(+1.2) +*	1711.0	(111) +	112	2215.8	(106) +
伊良湖	17.2	(+1.2) +*	2059.5	(129) +*	115	2282.2	(104) +
岐阜	17.0	(+1.2) +*	2088.5	(114) +	110	2172.7	(104) +
高山	12.3	(+1.3) +*	2152.0	(127) +*	127	1686.6	(104) +
津	17.1	(+1.2) +*	1787.0	(113) +	109	2174.5	(104) +
上野	15.4	(+1.2) +*	1720.0	(126) +*	111	1854.4	(105) +
尾鷲	17.3	(+1.2) +*	3880.0	(101) ○	111	1992.3	(102) ○
四日市	16.0	(+1.2) +*	2021.0	(117) +	111	2005.9	(102) ○
新潟	14.7	(+1.1) +*	2077.5	(114) +	182	1608.5	(99) ○
相川	15.0	(+1.1) +*	1810.0]	(120)] +	179]	1605.5	(98) ○
高田	14.7	(+1.1) +*	3084.0	(112) +	193	1567.2	(98) ○
富山	15.4	(+1.3) +*	2136.0	(93) ○	186	1664.6	(103) ○
伏木	15.1	(+1.2) +*	2065.0	(93) ○	182	1722.4	(107) +
金沢	15.9	(+1.3) +*	2535.5	(106) ○	194	1735.8	(103) ○
輪島	14.6	(+1.1) +*	2194.0	(104) ○	194	1578.4	(101) ○

地点名	平均気温(平年差) 階級		降水量(平年比) 階級		降水日数 ≥1mm	日照時間(平年比) 階級	
	(°C)	(°C)	(mm)	(%)		(h)	(%)
福井	15.6	(+1.1) +*	2531.5	(113) +	181	1695.3	(105) +
	敦賀	16.3	(+1.0) +*	2461.0	(115) +	182	1619.8
彦根	15.8	(+1.1) +*	1862.5	(119) +*	135	1905.9	(104) +
京都	17.0	(+1.1) +*	1644.5	(110) +	112	1851.9	(104) +
	舞鶴	15.5	(+1.0) +*	1985.5	(109) +	145	1595.9
大阪	17.7	(+0.8) +*	1521.5	(119) +	102	2149.6	(108) +*
神戸	17.6	(+0.9) +*	1614.5	(133) +*	98	2185.8	(105) +
	豊岡	15.4	(+1.1) +*	2135.0	(105) +	149	1536.0
姫路	16.2	(+1.0) +*	1254.5	(105) ○	91	2121.7	(104) +
洲本	16.7	(+1.2) +*	1772.5	(126) +	97	2048.1	(99) -
奈良	16.3	(+1.4) +*	1628.5	(124) +*	105	1881.7	(103) ○
和歌山	17.5	(+0.8) +*	1657.5	(126) +	106	2178.5	(104) +
	潮岬	17.9	(+0.6) +*	2717.5	(108) ○	120	2329.2
岡山	16.5	(+0.3) ○	1154.0	(104) ○	85	2162.4	(106) +
	津山	14.7	(+1.0) +*	1510.0	(107) ○	111	1935.3
広島	17.1	(+0.8) +*	2026.5	(132) +*	99	2167.1	(106) +
	呉	17.0	(+0.8) +	1660.0	(120) +	99	2202.5
福山	16.2	(+0.8) +	1318.5	(118) +	88	2192.6	(105) +
松江	15.8	(+0.9) +*	2015.0	(113) +	137	1780.8	(105) +
	西郷	15.2	(+0.9) +*	2053.5	(114) +	142	1814.0
浜田	16.3	(+0.8) +*	1867.5	(112) +	128	1871.2	(107) +
鳥取	15.9	(+1.0) +*	2096.0	(110) +	156	1726.8	(104) +
	米子	16.1	(+1.1) +*	1862.5	(105) ○	134	1813.9
境	16.2	(+1.1) +*	2094.0	(110) +	148	1776.7	(103) +
徳島	17.5	(+0.9) +*	1644.0	(113) +	92	2240.5	(107) +
高松	17.4	(+1.1) +*	1108.5	(102) ○	87	2174.0	(106) +
	多度津	17.2	(+1.0) +*	1194.0	(112) +	91	2238.8
松山	17.3	(+0.8) +*	1662.0	(126) +*	95	2162.8	(107) +*
	宇和島	17.5	(+0.7) +*	1826.0	(111) +	108	2106.3
高知	17.8	(+0.8) +	3238.5	(127) +	115	2310.1	(107) +*
	宿毛	17.7	(+0.8) +*	2279.5	(116) +	121	2258.1
清水	18.7	(+0.5) +	2687.0	(108) ○	116	2318.1	(105) +
室戸岬	17.3	(+0.6) +	2703.0	(116) +	124	2290.7	(105) +
山口	16.1	(+0.8) +*	2277.0	(121) +	112	2007.4	(109) +*
	下関	17.4	(+0.7) +	1958.0	(116) +	106	2013.3
萩	16.3	(+0.8) +*	1868.5	(113) +	117	1888.1	(110) +*
福岡	17.9	(+0.9) +*	2212.5	(137) +*	107	2040.5	(109) +*
	塚	16.5	(+0.8) +*	2059.0	(117) +	110	1991.4

地名	平均気温(平年差) 階級		降水量(平年比) 階級		降水日数 ≥1mm	日照時間(平年比) 階級	
	(°C)	(°C)	(mm)	(%)		(h)	(%)
大分	17.4	(+1.0) +*	1860.0	(113) +	105	2166.4	(108) +*
日田	16.3	(+0.9) +*	2508.0	(139) +*	112	1922.0	(107) +
長崎	17.7	(+0.5) +	2709.5	(146) +*	118	1974.3	(106) +
厳原	16.4	(+0.6) +	2937.0	(131)] +*	101]	1932.9	(104) +
			(統計月数:11)	(統計月数:11)			
平戸	16.8	(+0.7) +	3077.0	(146) +*	117	1918.1	(108) +
佐世保	17.7	(+0.7) +*	2803.0	(144) +*	104	2060.8	(108) +*
雲仙岳	13.3	(+0.5) +	4127.5	(142)] +*	125]	1589.2	(110) +*
			(統計月数:11)	(統計月数:11)			
福江	17.4	(+0.6) +	3184.0	(136) +*	124	1835.2	(105) +
佐賀	17.5	(+1.0) +*	2876.0	(154) +*	108	2095.0	(106) +*
熊本	17.6	(+0.7) +	2467.5	(124) +	106	2130.6	(106) +*
人吉	16.2	(+0.7) +*	3171.0	(133) +*	130	1894.2	(104) +
牛深	18.5	(+0.5) +	3106.5	(157) +*	121	2057.2	(106) +
宮崎	18.3	(+0.9) +*	2279.5	(91) ○	120	2208.0	(104) +
延岡	17.3	(+0.7) +*	2358.0	(103) ○	107	2254.4	(106) +
都城	17.3	(+0.8) +*	3312.5	(133) +*	135	2028.4	(105) +
油津	18.6	(+0.4) +	2667.5	(103) ○	124	1998.5	(102) ○
鹿児島	19.2	(+0.6) +	2977.5	(131) +*	127	2041.4	(105) +
阿久根	17.8	(+0.6) +	3109.5	(151) +*	120	2093.1	(107) +
枕崎	18.6	(+0.5) +*	3061.0	(141) +*	125	1984.4	(103) +
屋久島	19.9	(+0.5) +	4837.5	(108) +	175	1477.3	(97) -
種子島	20.1	(+0.5) +	2688.0	(115) +	139	1874.7	(104) +
名瀬	22.0	(+0.4) +	3039.0	(107) +	185	1275.5	(94) -
沖永良部	22.9	(+0.5) +*	1933.0	(105) ○	120	1761.2	(94) -
那覇	23.8	(+0.7) +*	2481.0	(122) +	129	1737.2	(98) ○
名護	23.2	(+0.6) +*	2667.5	(132) +*	151	1700.8	(96) -
久米島	23.7	(+0.8) +*	2913.0	(138) +*	145	1705.1	(97) -
宮古島	24.3	(+0.7) +*	2504.5	(124) +	143	1775.3	(101) ○
石垣島	25.0	(+0.7) +*	2521.5	(120) +	141	1934.7	(105) +
西表島	24.5	(+0.8) +*	2012.0	(87) -	140	1733.2	(100) ○
与那国島	24.5	(+0.7) +*	1994.5	(85) ○	156	1588.5	(101) ○
南大東島	24.1	(+0.8) +*	2291.5	(144) +*	137	2051.9	(97) -

(注) 1. 平年値は1981～2010年の資料から求めた。

2. 「階級」の記号の意味は以下のとおり。

+ : 高い(多い)      ○ : 平年並      - : 低い(少ない)

各階級の区分値は、1981～2010年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が10個ずつになる)ように決めた。

また、値が1981～2010年の観測値の上位または下位10%に相当する場合には階級の「+」に\*を付加した。この場合には以下のように表現できる。

かなり高い(多い)      かなり低い(少ない)

3. 値の横に ] がある場合は、年別値を求める際に使用したデータ(月別値)に欠測等が含まれていることを示す。]付きの値(資料不足値)については、統計に用いる観測資料数が不足しているため、値の下に記載した統計月数を参考にするとともに、階級についても値と同様の品質であることに留意して使用されたい。

なお、月別値がすべて欠測のため値が求められない場合は「×」とした。

## 5 極値順位更新表 2020 年

※順位の更新はタイ記録も含んでいる。タイ記録は「=」で表す。

年平均気温高い方からの順位更新

順位	地点名	平均気温 ℃	平年差 ℃	これまでの最高 ℃ (西暦年)	開始年	平年値 ℃
1	帯広	8.1 =	+1.3	8.1 (2015)	1892	6.8
	大船渡	12.5 =	+1.2	12.5 (2015)	1963	11.3
	新庄	12.1	+1.4	11.9 (1990)	1957	10.7
	若松	13.0	+1.3	12.9 (2016)	1953	11.7
	酒田	13.8 =	+1.1	13.8 (2019)	1937	12.7
	山形	13.0	+1.3	12.9 (1990)	1889	11.7
	仙台	13.7 =	+1.3	13.7 (2015)	1926	12.4
	白河	12.7 =	+1.2	12.7 (2018)	1940	11.5
	輪島	14.6	+1.1	14.5 (2004)	1929	13.5
	相川	15.0	+1.1	14.8 (2019)	1911	13.9
	金沢	15.9	+1.3	15.8 (2019)	1882	14.6
	伏木	15.1	+1.2	14.9 (2019)	1883	13.9
	富山	15.4	+1.3	15.2 (2019)	1939	14.1
	長野	13.1 =	+1.2	13.1 (2016)	1889	11.9
	高田	14.7	+1.1	14.6 (2004)	1922	13.6
	福井	15.6 =	+1.1	15.6 (2019)	1897	14.5
	高山	12.3 =	+1.3	12.3 (2016)	1899	11.0
	岐阜	17.0 =	+1.2	17.0 (2019)	1883	15.8
	名古屋	17.0 =	+1.2	17.0 (2019)	1890	15.8
	伊良湖	17.2 =	+1.2	17.2 (2004)	1947	16.0
	浜松	17.5 =	+1.1	17.5 (2019)	1882	16.4
	静岡	17.8 =	+1.3	17.8 (2019)	1940	16.5
	三島	17.3	+1.4	17.1 (2019)	1930	15.9
	尾鷲	17.3	+1.2	17.1 (2019)	1938	16.1
	石廊崎	17.7 =	+1.1	17.7 (2019)	1939	16.6
	網代	17.1 =	+1.1	17.1 (2018)	1937	16.0
	大島	17.4	+1.3	17.3 (2018)	1938	16.1
	三宅島	18.9 =	+1.2	18.9 (2019)	1942	17.7
	日光	8.1 =	+1.2	8.1 (2018)	1944	6.9
	境	16.2 =	+1.1	16.2 (2019)	1883	15.1
米子	16.1 =	+1.1	16.1 (2019)	1939	15.0	
豊岡	15.4 =	+1.1	15.4 (2019)	1918	14.3	
彦根	15.8 =	+1.1	15.8 (2019)	1893	14.7	
洲本	16.7 =	+1.2	16.7 (1998)	1919	15.5	
奈良	16.3 =	+1.4	16.3 (2019)	1953	14.9	
父島	24.2 =	+1.0	24.2 (2016)	1968	23.2	
2	羽幌	8.6 =	+0.9	8.9 (1990)	1921	7.7
	留萌	8.7	+1.0	8.9 (1990)	1943	7.7
	旭川	7.9 =	+1.0	8.2 (1990)	1888	6.9
	小樽	9.5 =	+0.9	9.8 (1990)	1943	8.6



	札幌	10.0 =	+1.1	10.1 (1990)	1877	8.9
	岩見沢	8.7 =	+1.1	9.0 (1990)	1946	7.6
	釧路	7.5	+1.3	7.7 (2015)	1910	6.2
	寿都	9.5 =	+0.9	9.9 (1990)	1884	8.6
	苫小牧	8.7 =	+1.1	9.0 (1990)	1942	7.6
	浦河	9.0 =	+1.1	9.2 (1990)	1927	7.9
	江差	10.9 =	+0.8	11.2 (1990)	1941	10.1
	倶知安	7.9 =	+0.9	8.0 (1990)	1944	7.0
	広尾	8.0 =	+1.2	8.2 (2015)	1958	6.8
	深浦	11.6 =	+0.9	11.8 (1990)	1940	10.7
	青森	11.6	+1.2	11.7 (1990)	1882	10.4
	秋田	12.8	+1.1	12.9 (2019)	1882	11.7
	盛岡	11.4	+1.2	11.6 (2015)	1923	10.2
	宮古	11.6	+1.0	11.8 (1990)	1883	10.6
	石巻	12.6 =	+1.0	12.7 (1990)	1887	11.6
	小名浜	14.6	+1.2	14.7 (2018)	1910	13.4
	新潟	14.7 =	+1.1	14.9 (1990)	1881	13.6
	宇都宮	15.0	+1.2	15.2 (2018)	1890	13.8
	松本	13.1 =	+1.3	13.2 (2018)	1898	11.8
	諏訪	12.2 =	+1.1	12.3 (2018)	1945	11.1
	軽井沢	9.2 =	+1.0	9.3 (2018)	1925	8.2
	前橋	15.8	+1.2	16.1 (2018)	1896	14.6
	熊谷	16.2	+1.2	16.4 (2018)	1896	15.0
	水戸	15.0	+1.4	15.3 (2018)	1897	13.6
	甲府	15.9 =	+1.2	16.0 (2018)	1894	14.7
	河口湖	11.7 =	+1.1	11.8 (2018)	1933	10.6
	秩父	14.2	+1.1	14.5 (2018)	1926	13.1
	館野	15.1	+1.3	15.3 (2018)	1921	13.8
	上野	15.4 =	+1.2	15.5 (2016)	1937	14.2
	津	17.1	+1.2	17.2 (1998)	1889	15.9
	御前崎	17.6	+1.2	17.7 (2019)	1932	16.4
	横浜	17.0	+1.2	17.1 (2018)	1896	15.8
	館山	17.1	+1.2	17.2 (2018)	1968	15.9
	千葉	17.0	+1.3	17.2 (2018)	1966	15.7
	舞鶴	15.5 =	+1.0	15.6 (2004)	1947	14.5
	津山	14.7 =	+1.0	14.9 (1998)	1943	13.7
	大分	17.4 =	+1.0	17.6 (2016)	1887	16.4
	多度津	17.2 =	+1.0	17.4 (1998)	1892	16.2
3	根室	7.3 =	+1.0	7.6 (2015)	1879	6.3
	室蘭	9.6	+1.0	10.0 (1990)	1923	8.6
	むつ	10.5	+1.0	11.0 (1990)	1935	9.5
	八戸	11.3 =	+1.1	11.4 (2004)	1936	10.2
	敦賀	16.3 =	+1.0	16.4 (2016)	1897	15.3
	勝浦	16.7 =	+1.0	16.9 (2018)	1906	15.7
	四日市	16.0 =	+1.2	16.4 (1998)	1966	14.8
	西郷	15.2 =	+0.9	15.3 (1998)	1939	14.3
	京都	17.0	+1.1	17.1 (2016)	1880	15.9
	姫路	16.2 =	+1.0	16.3 (2016)	1948	15.2
	大阪	17.7 =	+0.8	17.9 (2004)	1883	16.9
	飯塚	16.5 =	+0.8	16.8 (1998)	1935	15.7

	高松	17.4	+1.1	17.5 (2016)	1941	16.3
	徳島	17.5 =	+0.9	17.7 (1998)	1891	16.6
	西表島	24.5 =	+0.8	24.8 (2016)	1955	23.7
	南大東島	24.1 =	+0.8	24.7 (1998)	1942	23.3

年平均気温低い方からの順位更新  
3位以内はなし

年降水量多い方からの順位更新

順位	地点名	降水量 mm	平年比 %	これまでの最大 mm (西暦年)	開始年	平年値 mm
1	佐賀	2876.0	154	2643.7 (1953)	1890	1870.1
2	千葉	1791.5	129	1910.5 (1991)	1966	1387.3
	雲仙岳	4127.5]	142]	4773.0 (1993)	1924	2899.4
	福江	3184.0	136	3491.5 (1972)	1962	2335.8
3	佐世保	2803.0	144	2907.6 (1957)	1946	1949.7
	長崎	2709.5	146	2842.0 (1993)	1878	1857.7
	牛深	3106.5	157	3234.5 (1993)	1949	1979.3

年降水量少ない方からの順位更新

順位	地点名	降水量 mm	平年比 %	これまでの最小 mm (西暦年)	開始年	平年値 mm
3	苫小牧	932.5	78	839.0 (1984)	1942	1197.9
	広尾	1247.5	73	1051.5 (1984)	1958	1698.5

年間日照時間多い方からの順位更新  
3位以内はなし

年間日照時間少ない方からの順位更新  
3位以内はなし

(注) 値の横に] がある場合には、年別値を求める際に使用したデータ(月別値)に欠測等、統計に用いなかった値が含まれている(資料不足値)。順位は更新順位以上になることは確実であるが、統計値の使用に際しては気候表に記載した統計月数を参照されたい。  
平年値とは1981~2010年の30年間の値を平均したものである。

○本資料に関連した各地点の所在地等の情報は、気象庁ホームページに掲載しています。

ホーム > 各種データ・資料 > 過去の気象データ検索 > 利用される方へ > 地上気象観測地点一覧

<https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/mdrr/chiten/sindex2.html>



(注意)

当資料に掲載されている天候の特徴や統計値は、現時点で得られている資料を取りまとめた速報です。

また、最新のデータを追加した上で、毎月 15 日頃に気象庁ホームページの「日本の天候の特徴と見通し」で詳しく解説しています。

<https://www.data.jma.go.jp/gmd/cpd/longfcst/>

